

# みずほ

第54号（発行：2025.3.25）

## 鳥のプチ情報

Vol. 10

### 野幌森林公園で確認されているキツツキの仲間

野幌森林公園で確認されている6種類の中からよく見られる5種類を紹介します。

#### 1、コゲラ

- ・大きさ：15 cm(スズメと同じくらい)
- ・特徴：頭がやや灰色みのある褐色で眉と頬、側面に白い線が入る。  
背中に白い横縞がある。日本最小のキツツキ。
- ・鳴き声：ギーギー、キッキッキッキ



#### 2、アカゲラ

- ・大きさ：24 cm
- ・特徴：喉からお腹までが白く、下腹が赤い。  
背中に逆八の字に見える大きな白い模様がある。
- ・鳴き声：キョッキョ、ケレレレ



#### 3、オオアカゲラ

- ・大きさ：28 cm
- ・特徴：アカゲラに似た色合いだが、大きな白い模様はない。  
お腹に黒い縦縞がある。
- ・鳴き声：キョッキョ、ケレレレ



#### 4、ヤマゲラ

- ・大きさ：30 cm
- ・特徴：目先が黒く、背中が黄緑色でお腹は白色。
- ・鳴き声：ピョーピョーピョピョ…(尻下がり)



#### 5、クマゲラ

- ・大きさ：46 cm(カラスと同じくらい)
- ・特徴：全身真っ黒、目の虹彩と嘴が黄白色。  
日本最大のキツツキで天然記念物。
- ・鳴き声：飛行時は“コロコロコロ…”、木にとまっている時は“キョーン、キョーン”



野幌森林公園では、日本最小から日本最大まで様々なサイズのキツツキを観察できます。

木をたたくようなコツコツといった音を頼りに森の中を探してみてください。

# 冬芽&芽吹き

## 三二図鑑 第四弾

樹木は冬の寒さや乾燥から葉や花などを守るために、冬芽と呼ばれる姿で冬越しをしています。冬の終わりから樹木が活動を始めると、冬芽が一斉に芽吹き、ドラマチックな春の息吹を感じられます。

第45、48、51号に引き続き、「冬芽&芽吹き」第四弾として、今号では葉が開いてから花が咲く12種類の樹木をご紹介します。

①雌雄異株、②雄花と雌花が別々の場所につく、③一つの花に雄しべと雌しべがあるなど、色々な種類があります。今号は全て③です。

### ナナカマド ③



冬芽



芽吹き



花

### シウリザクラ ③



冬芽



芽吹き



花

### アズキナシ ③



冬芽



芽吹き



花

### イヌエンジュ ③



冬芽



芽吹き



花

### ミツバウツギ ③



冬芽



芽吹き



花

### ハリギリ ③



冬芽



芽吹き



花

タラノキ ③



冬芽



芽吹き



花

コシアブラ ③



冬芽



芽吹き



花

ツリバナ ③



冬芽



芽吹き



花

オオツリバナ ③



冬芽



芽吹き



花

エゾアジサイ ③



冬芽



芽吹き



花

ハシドイ ③



冬芽



芽吹き



花

# 野幌森林公園のカラマツ

カラマツは北海道では元々生えていないため、野幌森林公園で見られるものは植えられたものです。自然ふれあい交流館のすぐそばにも一直線に並ぶカラマツがあり、戦後に野幌森林公園内で人々が生活していた名残が感じられます。江別は風が強いので、防風林として活躍していたかもしれません。

春

芽吹きとイチゴのような雌花が見られます。雄花は黄色で下向きにつきます



雌花



雄花

冬

まつぼっくりのタネを食べに、エゾリスや野鳥がやってきます



タネ



エゾリス



シジュウカラ



マヒワ

夏

未熟なまつぼっくりは緑色です



秋

葉が黄色く色づいて落葉します



ふれあいコースや記念塔連絡線のカラマツでは、まつぼっくりをかじるエゾリスが観察できることもありますよ。

園内には元々なかったカラマツですが、今では生きものたちの繋がり的一部分になっているようです。

～文：普及啓発員 O～

## 野幌森林公園 自然ふれあい交流館

開館時間：10～4月 9:30～16:30、5～9月…9:00～17:00

入館料：無料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832

自然ふれあい交流館  
公式ホームページ



自然ふれあい交流館  
公式 SNS



(発行・編集／指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団)

休館日：毎週月曜日（祝日・振休の場合開館）、年末年始（12/29～1/3）

駐車場：大沢口 約40台収容、無料